



糸東小だより



第
7
回

平成23年12月9日(金)
12月号 14

教育目標：やさしく かしこく たくましく

第7回 糸魚川市小・中学校 糸魚川地域 音楽発表会



【糸魚川市市民会館ステージで歌う5年生】



【中央 指揮者 近藤隆司 先生】



11月11日(金)5年生が、市民会館で開かれた小・中音楽発表会に参加してきました。「いつでもあの海は」と「赤いやねの家」の2曲を合唱しました。指揮は、近藤隆司先生、伴奏は、川原桜さんと石黒瑞紀さんで、53名の5年生が心を込めて歌いました。糸東小まつりで発表したとき以上の素晴らしい歌声を、市民会館いっぱいに響かせました。聴衆がうっとりするほどの美しい歌声でした。

校内いじめ根絶集会



【作文発表の代表者が掲げた「深めよう絆県民運動」の垂れ幕】

11月9日（水）3時間目に、児童会総務委員会が中心になって、全校児童がいじめ根絶集会を行いました。ねらいは、「全校のみんなに、劇や作文でいじめはしてはいけないことだと理解してもらい、ゲームで友達といっしょに遊べる楽しみを知ってもらう。」です。

いじめについての劇

総務委員会で劇を行い、いじめをすると人が傷ついてしまうことを全校に知らせました。そして、どうしたらよいのかをもう一度劇で教えました。

ゲーム

「人間知恵の輪」をわかくさ班（縦割班）で行い、班の絆を深めました。

作文発表

各学年から1名ずつ、いじめについて考えて書いた作文を発表しました。作文を聞きながら、いじめをなくすことについて真剣に考えました。



【いじめについて考える劇から】

「いじめ」についての作文から

いじめをなくすためにできること

1年生 女子

いじめは、されたいやなことを人にすることです。

わたしがされたいやなことは、むしをしたり、わる口をいったり、たたいたり、パンチをしたりすることです。

いじめをなくすためには、けんかをしないようにしたり、たたきあいをしてないようにしたりして、なかよくすることです。これをきをつければ、いじめはなくなるとおもいます。

友だちからしてもらってうれしかったこと

2年生 女子

わたしは、友だちからしてもらって、うれしかったことがあります。それは、わたしがまだ、一りん車にのれなかったころ、だれも、わたしを一りん車にさそってくれませんでした。でも、さんが、「一りん車やろう。」と、はじめてさそってくれました。今も、さそってくれます。今は、はじめてやったときより、ちょっと手をはなしてできるようになりました。さそってもらって、とてもうれしかったです。もしだれかが、あそぶ人がいなくてこまっていたら、あそびにさそってあげたいです。

やさしく元気のいいクラスになるために

3年生 男子

ぼくは、「やさしく元気のいいクラス」にしたいと思います。そのためには、まず、一人ひとりが「やさしい心」をもつことが大切だと思います。たとえば、こまっている人がいたら、おうえんしたり、話しかけたりすることです。

次に、元気のいいクラスにするためには、先生や友だちに、朝あいさつをすることが大切だと思います。あいさつをすれば、自分もされた人も、いい気持ちで一日をスタートできるからです。

ぼくたちのクラスは、じゅぎょう中に答えられない人がいたらおうえんします。また、きゅう食当番の人が休みだったらすすんで手伝います。だけど、ときどきクラス全員であそぶときに、なかよくできないこともあります。みんなで「やさしく元気のいいクラス」をめざしてがんばっていきたいです。

いじめについて考えること

4年生 女子

私は、いじめは、人をきずつけるし、自分もきずつくと考えています。なのでよくないです。

なぜなら、いじめは、人をきずつけて、いじめられた人は、いじめた人をきらいになる。これをずっと続けていけば、みんながいじめた人をきらいになるからです。そうしたら、いじめた人に友だちはいなくなってしまいます。それから、いじめられた人は仲間をつくって、今度はいじめた人をいじめる、そうやってどんどんくり返していくかもしれないからです。

なので、私は、いじめは人をきずつけるし、自分もきずつけられると思います。だから、いじめはよくないです。

いじめについて思うこと

5年生 男子

「いじめは悪い」ということを、誰もが分かっていると思います。けれども、なぜいじめをする人がいるのでしょうか。ぼくは、いじめとは人がいやがること全てなのだと思います。例えば、悪口、かげ口、ぼう力、無しは分かりやすいいじめだけど、これ以外にもたくさんあると思います。仲の良い友達でも、ふざけてけったり、たたいたりしている人がいます。している人は遊びのつもりでふざけているけど、やられている人はきずつついていると思います。

ぼくは、絶対にそういうことはしません。ぼくは、しても楽しくないと思います。でも、いじめられている人がいても見ているだけで止めることができません。先生に言うことすらできません。いじめをしている人にぼくが注意できないのは、次はぼくもいじめられると思うからです。本当は止めなければいけないと思っているけど、なかなか止めることができないのです。

そんな自分を変えたいです。

相手のいいところを知ることはいじめがなくなる

6年生 女子

私たちのクラスでは、道徳の時間にいじめとは何か話し合いました。そして、実際にしてしまったことなどを、一人ひとり書きました。さらに、クラスの中で解決していききたいことをみんなで考えて話し合いました。そうすると、「特定の人と話さない」と「相手によって態度を変える」この2つが6年生としての問題になりました。そこで、なぜこの2つが起きてしまうのか、どうしたらなくすことができるか、自分なりの解決策を考えました。

私は、相手によって態度を変えるのは、自分なりに心のどこかで人にランクをつけるなどしているからだと思いました。なので、誰でも同じ態度で話し、外見だけで判断しないで内面を見ることが大切で、一人ひとりがそうしなければいけないのではないかと思います。また、話しかけにくい場合は、他の友だちといっしょに行けば話題もたくさん出るし、話が盛り上がるのではないかと思います。私も、相手が話しかけてこないからいいや、話しかけづらいからと思って話さないことがありました。なので、私も相手が話しかけてこなかったら、自分から話していこうと思いました。

みんなで解決策を考えた結果、多かったのが、友だちの良いところを知る、知ろうとする、ということでした。そこで、みんなで友だちの良いところを考えてみました。同性同士だとすぐに書けたけど、異性同士だとなかなか書くことができませんでした。でも、一人ひとり良いところがあることが分かりました。

このことから、簡単に人の外見で差別をしないで、いろいろな人に話しかけ相手の良いところを知ること、いじめはなくなるのではないかと思います。そして、みんなでなかよく良いクラスをつくっていきたいです。

発表した各学年代表の作文を載せました。さすがに5・6年生になると、現実を冷静に見つめ、自分をしっかり分析しています。そして、自分を変えていきたい、クラスを良くしていきたいという願いをもっています。子どもたちの願いを実現させるためにも、教師と周りの大人が子どもの人間関係をしっかり把握し、一人ひとりの子どもの言動に注意していく必要があります。下校が極端に早かったり遅かったりする、不安そうな顔でおどおどしている、友だちの物を持たされている、通学路と違う道を通っている、物をよくなくす。こんな時は、お子さんの人間関係にひびが入っている場合があります。担任にお知らせください。いじめは、いつでもどこにでも発生します。